

**調査期間** 2015年4月1日～継続中  
**所在地** 伊勢原市上粕屋  
**時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、  
縄文、旧石器  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北方約  
2kmの上粕屋扇状地に位置する。



### 主な調査成果

主に近世～中世、平安時代、縄文時代の遺構や遺物が発見されています。縄文時代後期の遺構は、埋没谷での活動エリア、敷石住居が見つかる生活エリア、大形の石による配石遺構の祭祀エリアが見つかっていて、集落のあり方を考える上で注目されています。平安時代では、保存状態が良好な竪穴住居跡や掘立柱建物がみついています。中世では、台地の外縁を巡る堀跡や掘立柱建物がみつき、糟屋館跡に関連する遺構の可能性も考えられます。近世では、宝永年間の富士山噴火に先立つ時期の遺構遺物が多くみついています。



縄文時代後期 配石遺構 (No.21 南)



縄文時代後期 谷と集落 (No.20)



縄文時代後期 注口土器 (No.20 東)



縄文時代後期 環礫方形配石遺構 (No.20 東)